様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	福祉センターゆり花会館	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	社会福祉法人　村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢　　課
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）	評価者（課長）	土田　孝

１　令和7年度の実績

（1）事業実績

利用実績	令和7年度　延べ利用人数　51,958人　（入浴　48,048人、施設　3,910人）
サービス向上の取組	業務に必要な知識・技能の向上及び利用者の要望や意見等を把握し利用者へのサービス向上に努める。創意工夫による自主事業の実施により利用者へのサービスを提供する。

（2）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	24,505	22,792	29,150	76,447	基本協定額：　146,698　千円
	利用料金	11,132	11,953	11,864	34,949	
	事業収入				0	
	自主事業収入	1,513	1,601	1,103	4,217	
	その他		2	320	322	
	収入合計　①	37,150	36,348	42,437	115,935	
支出	人件費	15,162	14,425	15,716	45,303	
	福利厚生費	72	88	66	226	
	事務費	66	59	43	168	
	管理費	10,024	8,862	11,673	30,559	
	水道光熱費	4,922	4,152	5,024	14,098	
	修繕料	2,525	1,902	2,802	7,229	
	使用料・リース料	549	629	471	1,649	
	手数料・保険料	176	173	157	506	
	委託料	1,852	2,006	3,219	7,077	
	事業費	10,485	9,147	12,928	32,560	
	自主事業経費	1,166	1,303	518	2,987	
	その他			223	223	
	支出合計　②	36,975	33,884	41,167	112,026	
収支差額（①－②）		175	2,464	1,270	3,909	

2　共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	協定等の内容どおり適正に業務を履行している

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

３　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

・利用者を増やすために宣伝広告や施設設備の整備等を継続する。
・電気料金及び燃料等の物価高騰により経営環境に厳しさを増している。経費削減について従業員全体で検討する。
・平成5年の施設利用開始から32年が経過し、経年劣化によるメンテナンスが増えている。安心安全な施設利用ができるよう取り組む。

（2）課題解決に向けた取組

・利用者の増加に向け、道の駅・商店などに宣伝広告のポスター掲示を依頼する。また国道側の看板に案内表示と宣伝等の掲示により利用者の増加に努める。
・冷暖房や換気扇等、必要のない所の電源スイッチを切り節電に努める。経費削減の取り組みが利用者へのサービス低下にならないよう留意して取り組む。
・常日頃の安全点検を継続して、従業員間の連携を取りながら速やかな安全対策を講じていく。業者による修繕や従業員の自助努力による保守、施設内の衛生管理及び温泉施設の温度管理を適切に行い安心安全な利用に取り組む。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

・令和7年度福祉センターゆり花会館アンケート要望では、主に温泉施設の整備等に係わる意見要望が挙がった。利用者への丁寧な説明や施設整備の点検整備を継続し安心安全な利用に努める。

②その他

村上市から事業委託（温泉活用による高齢者健康促進事業「湯ったり塾」）を受け年間96回実施している。使用箇所の整備と衛生管理に努め充実した取り組みができるように工夫する。

４　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

意見箱等のご意見・ご要望に対してはスピード感をもって対応し、安心・安全な利用ができるように施設設備の整備に努めた。施設の利用者数は前年度と継続的な傾向にあり、利用者が増えるよう工夫改善していく。

（2）施設所管課の評価

利用者からの要望や意見等に対して迅速に対応し、サービスの向上に努めている。節電等コスト意識と利用者の満足度の両方を意識しながら運営に取り組んでいる。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

引き続きコロナ禍以前並みの利用者となるよう集客に努めていただきたい。施設や設備の老朽化により修繕は年々増加しているが、引き続き適切な点検に努め維持管理していただくとともに、福祉センターとしての役割を十分踏まえ、設置目的である市民の健康の維持増進と福祉、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与がなされるよう、自主事業等の実施に努めていただきたい。